



菅原 道雄 議員

# 8人が登壇

町独自の米・食味コンクールを開催してはどうか  
消防組織体制見直しを急ぐべき

町長

開催の方向で検討する  
27年度から新体制で活動する

## 農業政策について

**議員** 町の担い手の現状と、今後の育成についての考え方は。

**町長** 認定農業者116名、認定就農者が6名となっており町の農業振興に貢献されている。26年度に町内全域をカバーする「人・農地プラン」を作成し、担い手の掘り起こしや農地集積を進めていく。**議員** 農地中間管理機構が設立されるが、町の取り組みは。

**町長** 農地の出し手や地域に対する支援があり、地域における人と農地問題を円滑に解決するため、この制度を有効に活用できるように推進体制の整備を図る。

**議員** 第19回米・食味分析鑑定コンクール国際大会の当町開催が決定したがどう取り組むのか。

**町長** 大会の総合部門で金賞を目指す。安全でおいしい米の産地として社会的評価を得ることにつながる。良質

米・良食味米の生産に向けた事業を推進していただくべく、町として支援策を講じていく。

**議員** 環境王国へ登録しているが、町内外での認知度が低いのでは。どう活用していくのか。

**町長** 山形県では当町のみ（全国13市町村）の認定であることから、「環境王国」のネームバリューを大いに活用し、今後当町の農業振興に役立てていく。

消防体制の見直しを

**議員** 消防団団員の減少で活動にも支障が見られる。早急に再編成を行うべきと考える。

**町長** 組織体制を見直し消防力の強化を図るべく、消防団幹部会議を中心に各分団・集落の考え方を尊重し検討を進め、27年度から新体制での団活動を開始したい。**議員** 可搬ポンプを機動力のある軽積載車に変えるべき。



環境王国認定マーク

**町長** 当町の消防団活動は広範囲に及び、迅速に現場へ急行するため機動力の向上は不可欠である。団の再編に

伴う班の統合等も視野に入れ、効率的かつ有効に活動できるように、体制と装備の整備を進めていく。

## 新たな農業・農村政策の対応は

町長

農村の維持発展のため本制度を有効に活用し、強い農業・農村集落づくりを進める



五十嵐久芳 議員

**議員** 農業を足腰の強い産業に育てるために、また農業・農村の多面的機能の維持発展を図るための政策を推進するとしており、自治体の取り組みが重要であるため問う。

① 新たな農業・農村政策に取り組む基本姿勢は。

**町長** 詳細について示されていない点もあるが、農業者の混乱を招かないように対応していく。基本的に複合経営及びコスト削減などによる所得の向上と、良質農産物生産による産地間競争への対応と位置づ



地域をあげての集落づくり

け、強い農業、働き甲斐のある農村集落づくりを進める。

**議員** 集積率の増高に向け政策では80%の集積率を目標にし、早い年度ほど協力が多く、目標を定め早期に取り組む必要があると思う。

**町長** 当町で3地区のほ場整備が計画されて

おり、集積率の向上は重要である。地域の話し合いの中で集積が図られるよう指導していく。

**議員** 認定農業者、集落営農、認定就農者への誘導は。

**町長** 町内全域をカバーする「人・農地プラン」を策定し、多くの農業者が農業経営改善計画を策定の上、認定を受けていただくよう認定基準を緩和しながら指導推進をする。

**議員** 日本型直接支払制度への取り組みは、情報・制度をきめ細かく説明し全集落に加入を促す必要があると思うが。

**町長** 地域コミュニティの共同管理などにより、農地が農地として維持され、将来にわたって多面的機能が十分に発揮されることを確保するとともに、豊かな

農村の維持発展のために本制度を有効に活用すべく集落説明会などを通し新規に取り組み地域の掘り起こしに力を入れる。

### 他の質問

- 水田活用の直接支払金への対応は
- 米の直接支払の廃止に伴う農業政策は

いづれがききたい

一般質問